

教科名 振り返り講義②

責任者名 田邊奈津子

学期 後期

対象学年 2学年

授業形式等 講義

◆担当教員

- 大橋 晶子 (解剖学Ⅰ 専任講師)
- 山崎 洋介 (解剖学Ⅱ 准教授)
- 林 良憲 (生理学 准教授)
- 坪井 美行 (生理学 専任講師)
- 人見 涼露 (生理学 専任講師)
- 津田 啓方 (生化学 准教授)
- 田邊 奈津子 (生化学 准教授)
- 山口 洋子 (生化学 専任講師)

◆一般目標 (GIO)

第2学年以降の科目の履修の土台である第1学年の学修事項を振り返り、総合的に理解を深め、確実にする。

◆到達目標 (SBOs)

特に共用試験で必要となる学修事項について格段の学力向上を図り、試問に対応できる。

◆評価方法

以下に示す2つの試験の総得点率50%以上を合格基準とする。  
 振り返り講義試験① (前期の定期試験期間に実施) 試験範囲は前期の振り返り講義の第1回~第20回とその関連事項。  
 振り返り講義試験② (後期の定期試験期間に実施) 試験範囲は後期の振り返り講義の第1回~第20回とその関連事項。  
 なお、再試験は前後期合わせた1つの試験として再試験期間に実施し、総得点率50%以上を合格基準とする。  
 総得点率は小数点以下を切り捨てて算出する (第1位を四捨五入しない)。  
 合格に達しない (再試験の総得点率50%未満) 場合、当該年度における「進級判定及び単位認定の特例」の該当を除外する。

◆オフィス・アワー

担当教員 田邊奈津子

対応時間・場所など 月曜日 17:00~18:00 生化学講座 (本館6F)

メールアドレス・連絡先 [tanabe.natsuko@nihon-u.ac.jp](mailto:tanabe.natsuko@nihon-u.ac.jp)

◆授業の方法

第1学年で履修した科目の学修事項を公的試験による試問の視点で講義形式にて復習する。適宜、第2学年で履修中の科目との関連性を確認しながら講義を行う。  
 各講義内容についての質問はその授業担当者によること。  
 本科目は前週講義試験の対象ではないが、9月9日~11月18日までの2時限目は1限目に実施する前週講義試験の復習を目的とするグループ学修にあて、振り返り講義は3限のみとなる (11月25日からは2限目、3限目に振り返り講義を実施)。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

- 教科書1 人体解剖学改訂第42版藤田恒太郎南江堂 2003
- 教科書2 頭蓋骨学習ノート 日本大学歯学部解剖学第1講座 2023
- 教科書3 歯の解剖学ワークブック 日本大学歯学部解剖学第II講座編 \*2023
- 教科書4 歯の解剖学 第22版藤田恒太郎原著金原出版 1995
- 教科書5 歯の解剖学全問解説2024 大日本歯学教育研究会 PUBFUN 2023
- 教科書6 基礎歯科生理学 第7版岩田幸一 他 医歯薬出版 2020
- 教科書7 はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 第3版 前野正夫、磯川桂太郎羊土社 2019
- 教科書8 スタンダード生化学・口腔生化学 第4版 鈴木直人 他学建書院 2023

◆DP・CP

コンピテンシ4: 歯科医学および関連領域の知識  
 コンピテンシー: 4-2、4-3、4-4、4-6、4-7、4-8、4-9  
 コンピテンシ8: 生涯学習  
 コンピテンシー8-1  
 対応するディプロマポリシー: DP3、DP4、DP8

◆準備学習 (予習・復習)

予習では各授業回の学修項目に該当する教科書や配布資料に目を通して用語などを確認しておくこと。  
 復習では講義内容のうち理解に至っていない事項を洗い出し、担当教員への質問などによって解決するとともに、振り返り講義試験①に向けて要点を整理すること。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を予習あるいは復習の目安とし、自身の理解や知識の定着の度合いに応じて調節すること。

◆全学年を通しての関連教科

- 化学 (1年前期)
- 生物学 (1年前期)
- 生化学1 (1年後期)
- 生化学1 (1年後期)
- 生理学1 (1年後期)
- 生化学2 (2年前期)
- 生化学3 (2年後期)
- 生理学2 (2年前期)
- 薬理学1 (2年後期)
- 解剖学 (神経) (2年前期)
- 解剖学 (筋) (2年前期)
- 解剖学 (脈管・感覚器) (2年前期)
- 解剖学 (内臓) (2年前期)
- 人体解剖学実習 (2年後期)
- 顎口腔機能学

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当科目 担当教員	H28年度版コアカリキュラム
1	AB	2024/9/9	3	1. 骨学総論 骨格の構成、骨の構造、骨の連結、関節の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨格系の構成について説明できる。</li> <li>不動関節、半関節、可動関節の違いについて説明できる。</li> <li>可動関節 (関節) の種類と構造について説明できる。</li> </ul>	大橋 晶子	C-3-1) ① 身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。 C-3-4) - (O2) ① 人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。
2	AB	2024/9/16	3	2. 頭蓋の骨① 頭蓋骨の種類と連結、頭蓋の全景	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭蓋の骨格が、15種類23個の頭蓋骨によってできていることを説明できる。</li> <li>頭蓋骨の連結には縫合と軟骨結合があることを説明できる。</li> <li>頭蓋冠、側頭窩、側頭下窩、翼口蓋窩、眼窩、骨口腔、骨鼻腔の位置と構成について説明できる。</li> </ul>	大橋 晶子	E-2-1) ② 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。

3	AB	2024/9/30	3	3. 頭蓋の骨② 頭蓋骨の種類と 連結、頭蓋の全 景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顎関節の構成について説明できる。</li> <li>・内頭蓋底と外頭蓋底について説明できる。</li> </ul>	大橋 晶子	E-2-1)-②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)-⑥顎関節の構造と機能を説明できる。
4	AB	2024/10/7	3	総論 切歯と犬歯の形 態 (教3)pp.2- 12、20-28 (教4)pp.1-28	<p>方向用語や歯式など基本的事項について説明できる。</p> <p>切歯の形態的特徴について説明できる。</p> <p>犬歯の形態的特徴について説明できる。</p>	山崎洋介	E-3-1)-②歯種別の形態と特徴を説明できる。
5	AB	2024/10/14	3	小臼歯の形態 (教3)pp.30- 37	小臼歯の形態的特徴について説明できる。	山崎洋介	E-3-1)-②歯種別の形態と特徴を説明できる。
6	AB	2024/10/21	3	大臼歯の形態 (教3)pp.38- 45	大臼歯の形態的特徴について説明できる。	山崎洋介	E-3-1)-②歯種別の形態と特徴を説明できる。
7	AB	2024/10/28	3	歯の異常形態 (教3)pp.46- 50 (教5)pp.50- 54	歯の異常形態について、好発歯、好発部位、形態を説明できる。	山崎洋介	E-3-1)-③遺伝的な歯の形成異常を説明できる。
8	AB	2024/11/4	3	歯の形成と萌出 の時系列 (教5)pp.55- 57	歯胚形成、石灰化開始、歯冠完成、萌出、歯根完成という歯形成と萌出の時系列を歯種ごとに説明できる。	山崎洋介	E-3-1)-①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。
9	AB	2024/11/11	3	内分泌 教6)pp.132- 150、資料配布 も予定	ホルモンの分泌調節の様式および作用機序を理解できる。	人見涼露	C-3-4)-(09)-①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 C-3-4)-(09)-②恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明できる。 C-3-4)-(09)-③体温の調節機序を説明できる。 C-3-4)-(09)-④摂食調節の機序を説明できる。
10	AB	2024/11/18	3	消化吸収、排泄 (教5) pp.61- 75、157- 179、資料配布 も予定	消化管の構造、外来神経、内在神経の支配様式を理解し、消化・吸収調節機構を理解できる。 原尿の生成機能と尿管管での再吸収および分泌の機構について説明できる。	人見涼露	C-3-4)-(07)-①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 C-3-4)-(07)-②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 C-3-4)-(10)-①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。
11	AB	2024/11/25	2	自律神経 教6) pp.279- 294、資料配布 も予定	自律神経による調節機構を説明できる。	坪井美行	C-3-4)-(05)-③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。
12	AB	2024/11/25	3	脳と認知・生殖 (教6) pp.246- 278、資料配布 も予定	情動・認知のメカニズムを説明できる。生殖器の構造と機能を説明できる。	坪井美行	C-3-4)-(05)-④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 C-3-4)-(11)-①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。
13	AB	2024/12/2	2	呼吸 (教6)pp.103- 122、資料配布 も予定	呼吸の神経調節機序および化学的調節機序を理解できる。	人見涼露	C-3-4)-(08)-①気道系の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(08)-②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。
14	AB	2024/12/2	3	血液 (教6) pp.51- 57、資料配布 も予定	血漿成分と血球成分（赤血球、白血球、血小板）の生成と崩壊の過程および機能について説明できる。	林良憲	C-3-4)-(04)-④血液の構成要素と役割を説明できる。 C-3-4)-(04)-⑦止血、血液凝固及び線溶の機序を説明できる。
15	AB	2024/12/9	2	循環 (教6)pp.76- 102、資料配布 も予定	血圧と血液循環の関係を説明できる。循環調節機構を説明できる。	林良憲	C-3-4)-(04)-⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(04)-①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。

16	AB	2024/12/9	3	1. 無機質の代謝 1) 生体内の主な無機質 (Ca、Mg、P、Na、K、Cl、Fe、Fなど)の機能と代謝 2) Ca代謝調節 2. ビタミン 1) 分類および補酵素 2) 欠乏症・過剰症	<ul style="list-style-type: none"> <li>生体内の主な無機質の役割を理解できる。</li> <li>講義項目に挙げたものは、重要な成分であるので、それらの生体内での役割を理解できる。</li> <li>生体の硬組織はリン酸カルシウム塩で構成されていることを理解できる。</li> <li>体液と細胞内液では無機成分の構成比率が大きく異なるものがあることを理解できる。</li> <li>血中カルシウム濃度調節機構の詳細を理解できる。</li> <li>ビタミンは代謝系での補酵素としての役割と同時に、特異的な欠乏症や過剰症もあるので役割と関連して理解できる。</li> <li>脂溶性ビタミン、水溶性ビタミンの種類と役割が説明できる。</li> </ul>	山口洋子	C-2-1) 生命を構成する基本物質
17	AB	2024/12/16	2	9. セントラルドグマ 10. 遺伝子の操作 1) 遺伝子の増幅法 2) 遺伝子の検出法	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNA上の情報がRNAへ転写される過程を理解できる。</li> <li>転写後、修飾やスプライシングを経て成熟したmRNAが形成されることを理解できる。</li> <li>遺伝子の増幅法について理解できる。</li> <li>PCR法、RT-PCR法の原理と目的について説明できる。</li> <li>*PCR (polymerase chain reaction)</li> <li>*RT-PCR (reverse transcriptase-polymerase chain reaction)</li> </ul>	田邊奈津子	C-2-2)-③転写と翻訳の過程と調節機序を説明できる。
18	AB	2024/12/16	3	10. 遺伝子の操作 3) 遺伝情報の解読 4) 遺伝子組み換え法 5) 遺伝子導入法 6) 模擬問題の解答と解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>種々の遺伝子解析・操作技術の基本的な知識を得て理解できる。</li> <li>サザンブロットングやノーザンブロットング法について理解できる。</li> <li>DNA塩基配列の解読法について理解できる。</li> <li>制限酵素とリガーゼを用いた遺伝子組み換え技術を理解できる。</li> <li>プラスミドベクター等を用いた遺伝子導入、遺伝子発現技術を理解できる。</li> </ul>	田邊奈津子	C-2-2)-⑤遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明できる。
19	AB	2024/12/23	2	代謝と疾患	さまざまな代謝の異常が疾患につながっていることを説明できる。	津田啓方	C-2-1)-⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。 C-3-4)-(09)-①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 E-1-3)-⑤臨床検査結果と疾患の関係を説明できる。 C-2-1)-②糖質の構造、機能及び代謝を説明できる。 C-2-1)-③脂質の構造、機能及び代謝を説明できる。
20	AB	2024/12/23	3	代謝と疾患	さまざまな代謝の異常が疾患につながっていることを説明できる。	津田啓方	C-2-1)-⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。 C-3-4)-(09)-①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 E-1-3)-⑤臨床検査結果と疾患の関係を説明できる。 C-2-1)-②糖質の構造、機能及び代謝を説明できる。 C-2-1)-③脂質の構造、機能及び代謝を説明できる。